

Between アンテナ

大学情報をまとめて紹介



愛媛大学

国内唯一の医農融合による公衆衛生大学院

愛媛大学は2022年4月に、医農融合による公衆衛生大学院「医農融合公衆衛生学環」を設置する。withコロナの時代に、幅広い分野へ高度な公衆衛生人材を送り出し、健康増進、疾病予防、感染症対策に寄与することが目的。同大学の医学系研究科が持つ疫学、保健医療管理学、ヘルスデータサイエンスの知識と技術に関する強み、農学研究科が持つ環境汚染物質の測定や食品機能性評価の技術、食品衛生の知識と技術に関する強みの双方を生かした教育を展開する。初年度の募集人員は5人。修了生の進路として医師・看護師等の医療従事者のほか、保健師・栄養士、行政職員など健康に関する実務者も想定している。



広島県内4大学

地域企業との連携組織を新たに立ち上げ

広島大学は2021年10月、広島県および県立広島大学、広島市立大学、観啓大学と連携し、次世代型産学官金連携支援コンソーシアム「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」を発足させた。地域の大学が持つ人材育成や研究開発、新産業創出に関する知見を統合することで、新たなビジネスモデルや付加価値の創出を図り、地域経済の活性化をめざす。

コンソーシアムではSlack等のコミュニケーションツール、Wrike等のプロジェクトマネジメントツールを積極的に活用し、企業ニーズと大学研究成果とのマッチング、大学と企業・自治体との人材交流の促進、大学発ベンチャーの支援などに取り組む。これまで大学との連携に積極的に関与できなかった地域の中小企業を含めて、大学のノウハウを広く提供していく考えだ。



コンソーシアム発足の記者会見の様子



東京工業大学・多摩美術大学・一橋大学

価値創造スキルを磨くプログラムを開講

東京工業大学は多摩美術大学、一橋大学と連携し、文部科学省の2021年度「大学等における価値創造人材育成拠点の形成事業」に採択された価値創造人材育成プログラム「Technology Creatives Program(通称テックリ)」を2022年度から開講する。同事業は、先端技術を活用して社会共創の機会をつかむプログラムの開発と拠点形成を目的とし、エンジニアとデザイナーが価値創造スキル(創造性・感性・デザイン性・企画力等)を身に付け、自らリーダーシップを発揮して課題発見・解決の提案、実施を先導できる能力、およびマインドセットを備えた「尖った人材」の輩出をめざす。社会人対象の約6か月のプログラムでは、テクノロジー、アート・デザイン、ビジネスの大学および連携企業による全方位指導体制を通じて価値創造人材に必要な能力育成とネットワーク構築を図る。プログラム履修生の募集は2022年7月開始予定。



芝浦工業大学

卒業証明書、成績証明書をデジタル発行

芝浦工業大学は、一般社団法人国際教育研究コンソーシアムとアイルランドのIT企業Digitary社の協力の下、2021年10月から学修歴証明書のデジタル発行を開始した。デジタル化により同大学の学生、卒業生は、世界中のどこからでも自身の卒業証明書や成績証明書などを入手でき、企業等に示すことができるようになる。学生・卒業生にとっては海外留学時、海外企業への就職時に役立つほか、大学にとっては海外提携校との学修歴証明書の電子共有が可能となる。これにより留学生対応の際の効率化が見込まれるとともに、紙の証明書を減少させることができ、SDGsへの貢献も図れるという。



横浜国立大学

全国初の台風研究機関を設置

横浜国立大学は2021年10月、先端科学高等研究院に台風科学技術研究センターを設立した。地球温暖化により激甚化しつつある台風のリスク低減、および再生可能な台風エネルギーの活用による脱炭素社会の実現への貢献をめざす。センターには、台風の観測的研究やデータ解析研究に取り組む「台風観測研究ラボ」、台風の高精度予測を研究テーマとする「台風予測研究ラボ」、台風エネルギーによる発電や蓄電の研究・技術開発を行う「台風発電開発ラボ」、社会価値創出の観点から研究成果の社会実装を進める「社会実装推進ラボ」の4つのラボを配置。台風や気象の研究者のほか、海洋開発や船舶工学、数値解析モデリング、法学など多彩な分野の研究者が集まり、研究を推進する。